

令和5年度 いわき市奨学資金奨学生 募集要項

いわき市奨学資金は、能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難と認められる者に対して、奨学資金を貸与し、もって教育の機会均等を図り、健全な社会の発展に資することを目的としています。

1 応募資格

- (1) 高等学校、中等教育学校(後期課程に限る。)、高等専門学校、大学又は専修学校(高等課程又は専門課程に限る。)(以下「学校」という。)に在学中又は入学予定で、品行が正しく、学業成績が優秀であること。
- (2) 市内に引き続き1年以上住所を有すること。(市外に住所を移転し、市外の学校に在学している者にあつては、学校に入学するまで又は学校に入学する目的をもって住所を移転するまで引き続き1年以上市内に住居を有していたこと。)
- (3) 経済的理由により修学が困難と認められること。
- (4) 国、県又は他の団体から同種類の奨学資金の貸与又は給与を受けていないこと。
- (5) 本人の生計を主として維持する者の所得金額(別表第2の給与所得金額―別表第3の特別控除額)が、別表第1の所得基準額以下であること(詳細は、所得金額の求め方をご覧ください)。

2 募集人員及び貸与額

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| (1) 高等学校、中等教育学校の後期課程又は専修学校の高等課程 | 2名程度 月額 20,000 円 |
| (2) 高等専門学校 | 2名程度 月額 29,000 円 |
| (3) 大学又は専修学校の専門課程 | 12名程度 月額 40,000 円 |

※ 貸与は、3か月分を合わせて年4回行います。

3 貸与期間

令和5年4月から在学する学校の正規の修学期間とします。ただし、修学期間の中途(2年生以降)にあるものは、令和5年4月からとします。

4 奨学資金の返還

奨学資金の貸与終了後、貸与を受けた奨学資金の全額を、定められた方法により、その月の6か月後から10年以内に返還しなければなりません。(年賦又は半年賦)

なお、奨学資金には利息を付しません。

5 申込方法

奨学資金の貸与を受けようとする方は、連帯保証人2名を立て、「9 申込みに必要な書類」をそろえ、学生本人が教育委員会教育政策課に直接提出してください(郵送や保護者又は代理人による提出は受け付けておりません)。

6 申込受付期間

令和5年3月1日(水)～3月31日(金)午前8時30分から午後5時15分まで
(土日・祝日は受付していません。)

7 奨学生採用決定の通知

令和5年4月下旬に開催予定のいわき市奨学生選考委員会において審査を行い、奨学生を決定の上、奨学生決定通知書により本人宛に通知します。

8 申込み及び問合せ先

いわき市教育委員会事務局 教育政策課 総務係

住所:いわき市平字堂根町4番地の8 いわき市役所東分庁舎2階 電話番号:0246(22)7540(直通)

9 申込みに必要な書類

(1) 奨学生願書(第1号様式)

- ・本人・保護者・連帯保証人欄は、それぞれが自署してください。
- ・連帯保証人となる条件は、市内に居住する(住民登録のある)成年者で、独立して生計を営み、奨学資金の返還の責めを負うことができる程度の資力を有する者(うち1名は保護者でも可)です。市県民税滞納者及び生活保護受給者は、連帯保証人となるできません。
- ※ 奨学資金は学生本人に貸し付けるものであり、学生本人が返還する義務を負うものです。
- ※ 連帯保証人は、学生本人が返還しないとき、本人に代わって返還する義務を負います。

(2) 奨学生推薦調書(第2号様式)

入学前の出身校(最終学歴)に作成依頼(封筒に入れて封をされた状態で提出。開封無効)してください。
なお、作成依頼先は次のとおりとなります。

- ・高校又は中等教育学校の後期課程、専修学校の高等課程、高等専門学校に在学する者又は入学予定の者 → 出身中学校に依頼
- ・大学又は専修学校の専門課程に在学する者又は入学予定の者 → 出身高校に依頼
- ・大学等を卒業後、再度、異なる大学等に在学する者 → 出身大学等に依頼

(3) 合格通知書等の写しまたは在学証明書の原本(在学証明書については、2年生以上のものに限る)

(4) マイナンバー(個人番号)の利用等の取扱いに関する同意書

・「いわき市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例」に基づき、奨学生本人・両親(家計支持者)・家計を同一にしている者・連帯保証人のマイナンバー(個人番号)を提供することで、以下の(6)、(7)の書類の提出を省略することができます。マイナンバー(個人番号)の提供が困難な場合は、(6)、(7)の書類の提出が必要となります。

(5) 本人のマイナンバーを確認する書類 下記の①～③のいずれか(申請時に確認し、返却します。)

- ①マイナンバー(個人番号)カード
- ②通知カード+以下の書類1点(顔写真付き学生証等の顔写真付き身分証明書、公的医療保険の被保険者証、運転免許証、パスポート、年金手帳等)
- ③通知カード+以下の書類2点(母子健康手帳、顔写真なしの学生証、資格証明書等の身分証明書等)

(6) 所得額証明書の原本((4)同意書提出の場合は不要)

両親の所得額証明書(共働き家庭でなくとも両親二人分の所得額証明書が必要です。)

市町村長の証明する「令和3年分所得額証明書」とします。「所得額証明書」は市役所等の窓口で交付しております。源泉徴収票とは異なりますのでご注意ください。

※ 両親以外の方が家計を支えている場合は、書類提出前に問合せ先へ御相談ください。

(7) 住民票((4)同意書提出の場合は不要)

本籍地及び世帯全員が記載されているものとします。世帯が別であっても申込者本人と生計を一にしている場合は、その方の分も必要となります。※マイナンバーの記載のない住民票も可。

(8) 特別の事情にかかる経費内訳(指定様式・該当世帯のみ)

それぞれ必要書類を添付してください。

[留意事項]

- ① 書類の作成に当たっては、楷書で明確に記入し、記載もれ等のないようご注意ください。
- ② 奨学資金申請に当たって、提出いただいた書類等は返還いたしません。
- ③ 奨学生採用決定後において、奨学生・連帯保証人・保護者に係る届出内容に変更が生じた場合は、速やかに問合せ先まで御連絡ください。

所得金額の求め方

次の計算により所得金額を算出することになりますので、参考にしてください。

※所得金額(別表第2給与所得金額－別表第3特別控除額) ≤ 別表第1所得基準額になることを御確認ください。

給与所得者 4人家族(本人が大学生(国立自宅外通学)で父・母・弟(高校生(公立自宅通学))の例
所得額証明書の「給与収入金額」または「給与支払金額」が 500 万円であった場合

$$\begin{aligned} & \text{(別表第2の計算式から)} && \text{(別表第3特別控除額表から)} \\ & (500 \text{ 万円} \times 0.7 - 174 \text{ 万円}) - (\text{国公立大学生自宅外 } 121 \text{ 万円} + \text{公立高校生自宅通学 } 39 \text{ 万円}) \\ & && = \underline{\underline{16 \text{ 万円} (= \text{所得金額})}} \end{aligned}$$

※ その他の所得金額があれば上記の所得金額に加算されます。

別表第1所得基準額表により、所得金額が4人世帯 229 万円以下であり申請可能

給与所得者以外(自営業・農業等)

5人家族(本人が高校生(公立自宅通学)で父・母・弟2人(中学生・小学生))の例
所得額証明書の「営業所得金額」または「農業所得金額」が 320 万円であった場合

$$\begin{aligned} & \text{(別表第3特別控除額表から)} \\ & 320 \text{ 万円} - (\text{公立高校生自宅通学 } 39 \text{ 万円} + \text{中学生 } 46 \text{ 万円} + \text{小学生 } 31 \text{ 万円}) \\ & && = \underline{\underline{204 \text{ 万円} (= \text{所得金額})}} \end{aligned}$$

※ その他の所得があれば上記の所得金額に加算されます。

別表第1所得基準額表により、所得金額が5人世帯 221 万円以下であり申請可能

別表第1 所得基準額表(世帯人員別所得基準額)

世帯人員	基準額(高校生・専修学校高等課程・高専生)	基準額(大学生・専修学校専門課程)	備考
1人	1,030,000 円	1,390,000 円	世帯人員が7人を超える場合は1人増すごとに高校・高専等は11万円、大学等は12万円を世帯人員7人の所得基準額に加算する。
2人	1,650,000 円	1,980,000 円	
3人	1,900,000 円	2,120,000 円	
4人	2,060,000 円	2,290,000 円	
5人	2,210,000 円	2,390,000 円	
6人	2,340,000 円	2,500,000 円	
7人	2,460,000 円	2,620,000 円	

別表第2 給与所得金額の算出について

俸給・給料・賃金・歳費・恩給・賞与及び青色申告の専従者給与(白色申告の専従者給与も含む。)並びにこれらの性質を有する給与等の収入金額(市町村発行の所得額証明様式の内収入金額)を下記計算式により算出した金額を所得金額とします。

[給与所得の計算式]

- ① 収入金額 268 万円未満の場合は所得金額を 0 円とする
- ② 収入金額 268 万円以上 400 万円以下の場合・・・収入金額×0.8－214 万円
- ③ 収入金額 400 万円を超え 781 万円以下の場合・・・収入金額×0.7－174 万円
- ④ 収入金額 781 万円を超える場合・・・収入金額－408 万円

別表第3 特別控除額表

特別の事情		特別控除額			証明書	
1	一人親世帯であること	990,000 円			不要	
2	就学者のいる世帯であること (1人につき)	区分	自宅通学	自宅外通学		
		小学校	310,000 円			
		中学校	460,000 円			
		高等学校 <small>※中等教育学校 後期課程を含む</small>	国公立	390,000 円		690,000 円
			私立	880,000 円		1,180,000 円
		高等専門学校	国公立	430,000 円		720,000 円
			私立	870,000 円		1,160,000 円
		専修学校 (高等課程)	国公立	390,000 円		690,000 円
			私立	880,000 円		1,180,000 円
		専修学校 (専門課程)	国公立	360,000 円	810,000 円	
私立	1,020,000 円		1,470,000 円			
大学	国公立	740,000 円	1,210,000 円			
	私立	1,330,000 円	1,800,000 円			
3	障がい者のいる世帯であること	1人につき 990,000 円とする。			要	
4	長期療養者のいる世帯であること	療養のため、経常的に特別な支出をしている年間金額。				
5	家計支持者が別居している世帯であること	別居のため特別に支出している年間金額。 ただし、710,000 円を限度とする。				
6	火災、風水害又は盗難等の被害を受けた世帯であること	日常生活を営むために必要な資材又は生活費を得るための基本的な生産手段(田・畑・店舗等)に被害があつて、将来長期にわたって、支出増又は収入減になると認められる年間金額。				

備考 1 「就学者のいる世帯」による控除は、申込者本人を含みます。

2 現時点(申請時点)において特別の事情に該当する項目について控除されます。

記入例

(表面)

奨学生願書

令和5年3月14日

いわき市教育委員会 様

本人氏名 (フリガナ) 個人番号○○○○○○○○○○○○○○○ 磐城 太郎 平成16年 5月 24日生	
本籍 いわき市平字堂根町4番地の8	※ 郵便番号と携帯番号も記入してください。
住所 〒970-8026 いわき市平字堂根町4番地の8	電話番号 (22) 1111
※ 私立・国公立の別、学部名も記入してください。	入学 令和5年4月 卒業見込 令和9年3月
出身学校名 私立 いわき高校	貸与を希望する期間 令和5年4月1日から 令和9年3月31日まで
入学(在学)学校名 私立 いわき大学教育学部	
保護者氏名 (フリガナ) 個人番号○○○○○○○○○○○○○○○ 磐城 一郎 昭和45年 6月 30日生	本人との続柄 (父)
住所 〒970-8026 いわき市平字堂根町4番地の8	※ 令和5年4月からの学校の修学期間を記入してください。 電話番号 090-0000-0000
職業 勤務先 ○○株式会社 会社員 電話番号 (22) 7542	年収 450万円
連帯保証人氏名 (フリガナ) 個人番号○○○○○○○○○○○○○○○ 磐城 一郎 昭和45年 6月 30日生	本人との関係 (父)
住所 〒970-8026 いわき市平字堂根町4番地の8	電話番号 (22) 1111
職業 勤務先 ○○株式会社 会社員 電話番号 (22) 7542	年収 450万円
連帯保証人氏名 (フリガナ) 個人番号○○○○○○○○○○○○○○○ 福島 花子 昭和47年 11月 14日生	本人との関係 (叔母)
住所 〒974-8232 いわき市錦町大島1番地	電話番号 (63) 2111
職業 勤務先 ○○商店 自営業 電話番号 (22) 1123	年収 400万円

備考

※ 郵便番号と携帯番号も記入してください。

- 1 連帯保証人は、本人と連帯して債務を負うことになります。
- 2 保護者及び連帯保証人に係る欄は、それぞれ保護者及び連帯保証人が自署してください。

※ 個人番号とは、12桁のマイナンバーのことです。

記入例

(裏面)

※ 無職でも所得証明書の提出が必要です。

家族氏名	続柄	年齢	職業	勤務先又は学校名	月収
磐城 一郎	父	52才	会社員	〇〇株式会社	36万円
磐城 良子	母	50才	無職		
磐城 太郎	本人	18才	大学生	私立 いわき大学	
磐城 次郎	弟	16才	高校生	県立 いわき東高校	
磐城 マツ	祖母	76才	無職		

奨学資金の貸与を希望する理由

※ 年齢・学校名等は、令和5年4月1日現在で記入してください。

- ①進学する学校・学部を志望した理由、
- ②将来どのような職業に就いてどのように社会に貢献したいか
- ③奨学資金の貸与を受けようと思った理由 等

を記入してください(400字以内)。

本人の履歴(小学校入学以来の学歴及び身上の異動を記載すること。)

平成29年3月 市立 いわき小学校 卒業
 令和2年3月 市立 いわき中学校 卒業
 令和5年3月 私立 いわき高校 卒業

第2号様式（第2条関係）

奨 学 生 推 薦 調 書

年 月 日

いわき市教育委員会 様

学校長

印

氏 名							入学（在学）学校名						
出身学校名							卒業（見込） 年 月						
最 終 学 年 の 学 業 成 績													
教科													教科概評
評価													
学力所見													
人物所見													

家庭の状況

推薦の理由

特記事項

マイナンバー（個人番号）の利用等の取扱いに関する同意書

下記の者は、いわき市の教育政策課が行ういわき市奨学資金貸与条例及びいわき市奨学資金貸与条例施行規則に基づく事務手続きを処理するために限って、マイナンバー（個人番号）を申告し、併せて、直近年度の地方税関係情報について取得することに同意します。

なお、本書の複写は無効であり、本書の提出の際の事務処理に限って同意することを申し添えます。

令和 年 月 日

いわき市教育委員会 様

申請者 _____

【個人番号の利用範囲】

1. いわき市奨学資金貸与条例第5条の規定による奨学生願書の受理に関する事務
2. いわき市奨学資金貸与条例第5条の規定による奨学資金の貸与の出願に係る事実についての審査に関する事務
3. いわき市奨学資金貸与条例第10条の規定による奨学資金の貸与の打切りに関する事務
4. いわき市奨学資金貸与条例第12条に規定する連帯保証人の資力及び市民税の納税に係る事実についての審査に関する事務
5. いわき市奨学資金貸与条例第14条の規定による奨学資金の返還の免除の申請に係る事実についての審査に関する事務
6. いわき市奨学資金貸与条例施行規則第5条に規定する連帯保証人の資力及び市民税の納税に係る事実についての審査に関する事務

対象者	ふりがな	生年月日	申請者との続柄	マイナンバー（個人番号）												申請者と 同一家計	
	氏名			住所													
申請者																	<input type="checkbox"/> である
																	<input type="checkbox"/> でない
保護者																	<input type="checkbox"/> である
																	<input type="checkbox"/> でない
保護者																	<input type="checkbox"/> である
																	<input type="checkbox"/> でない
連帯保 証人																	<input type="checkbox"/> である
																	<input type="checkbox"/> でない
連帯保 証人																	<input type="checkbox"/> である
																	<input type="checkbox"/> でない
他の 家族																	<input type="checkbox"/> である
																	<input type="checkbox"/> でない

他の 家族																		<input type="checkbox"/> である
																		<input type="checkbox"/> でない
他の 家族																		<input type="checkbox"/> である
																		<input type="checkbox"/> でない
他の 家族																		<input type="checkbox"/> である
																		<input type="checkbox"/> でない
他の 家族																		<input type="checkbox"/> である
																		<input type="checkbox"/> でない
他の 家族																		<input type="checkbox"/> である
																		<input type="checkbox"/> でない
他の 家族																		<input type="checkbox"/> である
																		<input type="checkbox"/> でない
他の 家族																		<input type="checkbox"/> である
																		<input type="checkbox"/> でない
他の 家族																		<input type="checkbox"/> である
																		<input type="checkbox"/> でない

記載要領

1. 同意する者が自筆すること。ただし、15歳以下の者の同意については、世帯主もしくは親権者が記入してよい。
2. 願書等に同意が必要な者の住所を記入している場合、同意書への記入は、省略してもよい。
3. 同意が必要な者の数が記載欄より多い場合は、欄外に記載して差し支えない。
4. 同意書提出時に必要な申請者本人の個人番号確認書類
 - ①マイナンバー（個人番号）カード
 - ②通知カード+以下の書類1点（顔写真付き学生証等の顔写真付き身分証明書、公的医療保険の被保険者証、運転免許証、パスポート、年金手帳等）
 - ③通知カード+以下の書類2点（母子健康手帳、顔写真なしの学生証、資格証明書等の身分証明書等）

特別の事情にかかる経費内訳

令和 年 月 日

いわき市教育委員会

申請者 _____

特別の事情にかかる経費については、次のとおりです。

(該当項目) ※該当する項目の番号に○をつけてください。

- 1 障がい者のいる世帯であること (該当者 分)
- 2 長期療養者のいる世帯であること (該当者 分)
- 3 家計支持者が別居している世帯であること
- 4 火災・風水害又は盗難等の被害を受けた世帯であること

年・月						月 計
令和 年1月						
2月						
3月						
4月						
5月						
6月						
7月						
8月						
9月						
10月						
11月						
12月						
領収書計						
年間推算額						

(注1) 「障がい者がいる場合」：障がい者等手帳のコピーを添付してください。

(注2) 「長期療養者がいる場合」：病院・医師の「領収書(6か月以上療養費)」を添付し年間所要見込額を推算してください。

(注3) 「家計支持者が別居している場合」：表中上段に家賃・電気・ガス等の費用項目を記入し、各々の数ヶ月分の領収書を添付し、年間所要見込額を推算してください。

(注4) 「火災・風水害・盗難」：罹災証明書、被害届等を添付し、被害総額を推算してください。

(注5) 該当項目が2つ以上ある場合は、別様にしてください。